



にこにこ通信



11月

就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来てくださいね。



自由利用について

月～金曜・土（月2回） 午前9時～午後3時

★自由に遊び来てくださいね。



活動あれこれ



授業協力「育児体験」

加美中 10月2日
中町中 10月16日・17日・23日



授業協力「命の授業」

八千代小 10月4日
杉原谷小 10月25日



親子あそび 10月5日

「さつまいも堀り」



（自主サークル）古着屋たかっ子 … リユースの仕分け おとほな … 「さるかに」製作は、ほぼ完成 !!



子育ての不安や悩みなど、
気軽に相談くださいね。
遊びの時でもOKです。
…面談希望の方は、申し込みを…

家庭相談員にも相談できます
子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあらゆる相談があれば、お気軽にご連絡くださいね。
こども未来課 教育委員会 電話 32-2385

☆多可町子育てふれあいセンター <Email>kosodate@town.taka.lg.jp
〒677-0114 多可町八千代区仕出原 353 <TEL/FAX> (0795) 37-2525

★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

日	月	火	水	木	金	土
				1 ★アスパルきっず 開所式 アスパル	2 ・にこにこ教室 (H24~27) 旧中町幼稚園	3 文化の日
4	5 ・おやこ活動 (H30) 旧中町幼稚園 ・食育C ・おとはなC 子育てふれあいセンター	6 西脇市連携事業 ★親子あそび 中央公園	7 ・おやこ活動 (H28) 余暇村公園	8	9 ★親子バス旅行 神戸どうぶつ王国	10 自由開放 子育てふれあいセンター
11	12 ・ほかほかC 子育てふれあいセンター ★親子クリスマス会 汁屋会 子育てふれあいセンター	13 ・おやこ活動 (H27) 旧中町幼稚園	14	15 ・おやこ活動 (H29) 交流会館	16 ★学習会 八千代プラザ	17
18	19 ・おやこ活動 (H30) 旧中町幼稚園	20 ・おやこ活動 (H27) 交流会館	21 ・おやこ活動 (H28) 糺屋稲荷	22 ・おやこ活動 (H29) 余暇村公園	23 勤労感謝の日	24 自由開放 子育てふれあいセンター
25	26 ★赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター	27 ★いきいき広場 余暇村公園	28	29	30 ・にこにこ教室 (H24~27) 交流会館	

★「年度別おやこ活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ほかほかたより』をご覧ください。

活動のお知らせ



保育園・幼稚園がお休みの時は、いつでも遊びに来てね。

西脇多可連携事業 西脇市の親子のみなさんと交流します。

★親子あそび・・・誰でも参加できます。申込不要

とき：11月6日(火) 10:00~11:30

ところ：中央公園

内容：「葉っぱあそびと焼きいも」

持ち物：お茶



【雨天時】旧中町幼稚園で「秋あそびと焼きいも」をします。

★学習会・・・申込必要

とき：11月16日(金) 10:00~11:30

ところ：八千代プラザ

内容：「アンガーマネジメント

～怒りをコントロールして子育て上手に～」

講師：樽口知加氏

MC・マナーアカデミーマナージュ代表

★親子バス旅行・・・申込必要 先着12組程度

H27年度生まれ、またはH31年4月入園予定の親子優先

とき：11月9日(金)

ところ：神戸空港・神戸どうぶつ王国

持ち物：お弁当・お茶・敷物・おやつ

参加費：1家族 2,000円

大人2人の場合は1,500円追加(入園料)

(神戸どうぶつ王国入園料含む)

*ポートライナー運賃(250円)は各自でお願いします。

行程：9:00 みなみ児童館出発

9:15 アスパル出発

9:30 子育てふれあいセンター出発

11:15 神戸空港着

空港内見学・昼食

12:30 神戸どうぶつ王国へ移動(ポートライナー)

バードショー、ペンギンおやつタイムなど

15:00 神戸どうぶつ王国出発

16:30 子育てふれあいセンター着

16:45 アスパル着

17:00 みなみ児童館着



☆いきいき広場…申込不要
「公園で遊ぼう！」

とき：11月27日(火) 10:00~11:30
ところ：余暇村公園

*職員が見守る中、お子さんと自由に遊びましょう。

【雨天時】旧中町幼稚園であそびます。

おねがい

- ◆ボールプール用のボールが、たくさん必要です。おうちで使わなくなったボールがありましたら、ご提供ください。
- ◆牛乳パックを集めています。ご協力いただける方は、中をきれいに洗って開かずにとってきてください。

よろしくお願ひします

赤ちゃん広場

とき：11月26日(月)

申込不要

ところ：子育てふれあいセンター

10:00~10:30 身体測定

10:30~11:00 スキンシップあそび
情報交換

11:00~ フリートーク

*誰でも参加できます。気軽にお越しくださいね。



10月18日(木)「読み聞かせ講座」を開催しました。(図書館連携事業)

『子どもと楽しむ絵本の世界』 講師：今西茂子氏



子ども時代に絵本を読んでもらった記憶は、幸せな子ども時代の記憶として、その人の人生を支えています。

参加者の感想

- 毎日絵本を読み聞かせていますが、あらためてその絵本の大切さ奥深さを知ることができました。子どもと絵本を共有し、より愛着が持てるよう楽しみながら、ふれあいたいと思います。
- 理由もわからず、本好きな子になってくれればいいなと思い、生後3ヶ月の頃から絵本を見せていました。3歳になった今、とても絵本が大好きな子になりました。最近では内容も少しずつわかるようになってきたので、読み進めるといろいろな表情をしてさらに楽しめるようになりました。成長してから、少しでも子どもの心の成長につながるといういいなと思っています。
- 絵本を読んでほしがるが増えてきたので、本物の絵本を選んで出会わせてあげたいです。何度も繰り返し読むことを大人はあきってしまうこともあります…。楽しんでいる子どもの顔を見ながら私も楽しんで読んでいきたいと思っています。

おすすめ
ブックリストより

赤ちゃん絵本(1歳前後から)

ころころ	元永定正 さく・え
がたん ごん がたん ごん	安西水丸 さく・え
ねこがいっぱい	元永定正 さく・え
おつきさまこんばんは	林明子 さく・え
くだもの	平山和子 さく・え
どうぶつのおやこ	藪内正幸 え
きゅつきゅつきゅつ	林明子 さく
おててがでたよ	林明子 さく

2歳から

おおきなかぶ	A・トルストイ 再話 佐藤忠良 画
てぶくろ	E・M・ラチョフ 再話・絵
かばくん	岸田衞子 作 中谷千代子 絵
ちいさなうさこちゃん	ディック・ブルーナ 文・絵
ちいさなねこ	石井桃子 文 横内襄 絵
きつねとねずみ	ビアンキ 作 山田三郎 絵
ぞうくんのさんぽ	なかのひろたか 作・絵
なにのこどもかな	藪内正幸 作・絵
三びきのやぎのがらがらどん	M・ブラウン 再話・絵
おやすみなさいのほん	M・W・ブラウン 文 J・シャロ 絵

絵本を読み聞かせる

～喜びをわかちあう経験を～

喜びの共有と情緒発達

子どもは、乳幼児期から、母親と一緒に喜びあうことを求めます。自分ひとりで喜んでいることなど、ほんとうの喜びではなく、相手(他者)と喜びをわかちあってこそ、はじめてほんとうの人間的な喜びになることを、本能的に実感しているのです。

また、喜びをわかちあう経験のなかで、子どもは他者とコミュニケーションをとる力を身につけ、人間的な情緒発達の基盤が育てられるのです。

一心同体の経験

幼い子どもに、優れた絵本を読み聞かせるもっとも大切な意味は、この喜びをわかちあう体験にあります。

母親が、自分の膝に幼い子どもを前向きに座らせ、子どもの背中が自分の胸とふれあうように両腕に抱え込んで、両手に持った絵本を子どもの目の前に広げて、読み聞かせは始まります。

絵本を読んでやっているときは、子どものためというよりも、母親自身が絵本の世界に入り込んでしまうことが、子どもに、より大きな感動を与えるでしょう。いっしょに絵本の世界にひたるのです。そんな「一心同体」の世界で、子どもは母親の声で絵本の文章を聞き、母親の指先で教えられるように絵本の絵を見ていきます。

言葉とイメージと考える力

人間は言葉を必ずもっているといわれています。文字をもっていなくても、話し言葉は必ずもっています。

言葉は文化そのものです。そして、イメージをもっています。その言葉とイメージによって、私たちはものごとを考える力、すなわち生きる力を与えられます。子どもにとって絵本は、その言葉とイメージを、もっとも豊かに育んでくれるものです。

また、読み聞かせられた言葉やイメージとしての絵が、成長したとき、人間的な人格の基本要素として、しっかりと心の奥深くに根づいているのです。

言葉と絵の世界をわかちあう

私たちは本来、相手と喜びや悲しみをわかちあうことを求めて生きる存在です。ですから、誰か相手に喜びを与えていることが、自分にとっても喜びであるように、自分の悲しみを共有してくれる人に恵まれることを、大きな幸せと感ずります。

それなのに、私たちは今、知らず知らずのうちに、自分の喜びにしか関心を示さない利己的な傾向を強めながら生きています。しかも、そのことを忘れがちです。

こんな時代ですから、幼い子どもを自分の胸の内にしっかりと抱き、言葉と絵の世界を共有しあう一心同体の時間を、もっともって持つことが必要なのです。

そして、子どもの目や表情がいきいきと輝いて、胸の鼓動が高鳴ることに、読み手の大人も感動や喜びを感じることを大切にしてほしいのです。

それが、誰とでも喜びや悲しみをわかちあえる人格を育てることにつながるのです。

『はじまりは愛着から

人を信じ、自分を信じる子どもに』

著：佐々木正美（福音館書店）